

# Power Editor



## 取扱説明書

TOYOTA  
GR YARIS Gen2 [GXPA16]  
GR COROLLA [GZEA14H]

E05253-T10070-00  
2025.4発行  
Ver.3-1.01

### 1. はじめに

この度は、Power Editor Rハーネスをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために取付け前及び、使用する前に本書をお読みください。

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品取付車両を基準に開発されております。以上の車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 消耗部品や紛失部品及び本書のご注文は、お買い上げの販売店にお問合わせください。部品を発注する際は、商品名・コードNo.・車両型式・エンジン型式を注文先にお伝えください。
- お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は下表の適合車種の車両にのみ使用可能です。
- 本製品の仕様は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。

商品名	Power Editor Rハーネス TR-1
コードNo.	42999-AT001
用途	ターボ車両のブーストアップ
適合車種	TOYOTA GR YARIS Gen2 [GXPA16]/GR COROLLA [GZEA14H]

### 2. 安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用いただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

**警告** 作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負う可能性がある場合。

**注意** 作業員又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合（人損）  
拡大物損の発生が想定される場合（拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害〔例えば車両の破損及び焼損〕）

#### 警告

- 換気の良い場所で作業を行ってください。  
換気の悪い場所で作業すると、爆発及び火災の原因となります。
- コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。  
ショートなどによる火災、及び電装品の破損・焼損の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭などの異変があった場合には本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問合わせください。  
そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
- 作業は、車両を駐車しておける場所で行ってください。

#### 注意

- 本製品の取付けは必ず専門業者に依頼してください。  
専門外の方が作業されると、火傷やけがなどを負う恐れがあります。
- 本製品の加工・分解・改造などの誤使用及び修理は絶対に行わないでください。  
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 高温になる場所・水などがかかりやすい場所・湿気やほこりの多い場所を避けて取付けてください。  
作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 配線は断線・ショート・誤配線のないように行ってください。  
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 故障などの修理はお客様ご自身で対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、車両に異音・異臭・振動などの異変があった場合には、ユーザーマニュアルに従って対処してください。
- 本製品をご使用前に、以下の確認を行ってください。
  - ・車両に搭載しているECUが、メーカー純正品であること。
  - ・ECUのデータがノーマルであること。
- コネクタを抜き差しする際は、必ずコネクタを持って行ってください。  
ケーブルを引っ張ってしまうと断線の恐れがあります。
- 車両の修理や車検の際は、本製品を取り外してから、車両を業者に引き渡してください。
- 日常点検はドライバーの責任です。必ず実施してください。

### 3. 本製品の特徴

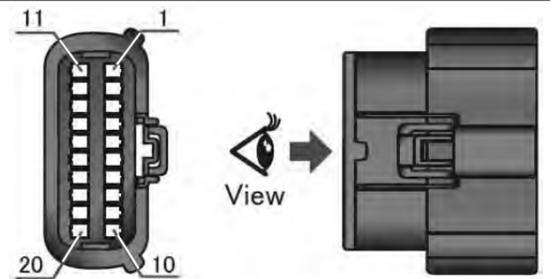
- ・本製品を取付け、車両に合わせたデータをPower Editor R本体に書込むことでブーストアップすることができます。
- ・本製品を装着後でも接続ハーネスからPower Editor R本体を取外し、代わりに本体に同梱の復帰コネクタを接続することでノーマルの状態に戻すことができます。

### 4. パーツリスト

1  TR-1ハーネス 1ケ	2  車速信号ハーネス 1ケ	3  メスギボシ 1ケ	4  メススリーブ 1ケ
5  オスギボシ 1ケ	6  オススリーブ 1ケ	7  防水栓 1ケ	8  Power Editor R TOYOTA GR YARIS [GXPA16] GR COROLLA [GZEA14H] 取扱説明書 (日・英) 各1部

### 5. ハーネスの仕様とマップデータの設定

本製品のPower Editor R本体側のコネクタ（右図）の各端子は下表のように配線されています。マップデータの各Channelの設定、パラメータは下記のように設定してください。



Power Editor R 本体側コネクタ

Pin	配線先 (機能)	Pin	配線先 (機能)
1	ブーストセンサ (電源)	11	ブーストセンサ (GND)
2	ブースト信号 (センサ側)	12	ブースト信号 (ECU側)
3	インマニ圧信号 (センサ側)	13	インマニ圧信号 (ECU側)
4	-(防水栓)	14	-(防水栓)
5	スロットル信号 (センサ側+ECU側)	15	-(防水栓)
6	-(防水栓)	16	-(防水栓)
7	エアフロ信号 (センサ側)	17	エアフロ信号 (ECU側)
8	カム角信号(吸気側)	18	車速信号 または 防水栓 (任意で選択)
9	USB D -	19	USB D+
10	USB 5V	20	USB GND

「ブースト1」を選択

必要に応じて選択

「インマニ圧」を選択

必要に応じて選択

「スロットル軸」を選択  
※「スロットル1 (または2)」は配線が  
入出力になっている場合に選択します

メインマップに☑を入れる

必要に応じて選択

車両設定

回転バルス数 3

車速バルス数 4

スロットル電圧

閉 700 mV

開 4000 mV

入力信号設定

回転 信号検出しきい値 2500 mV

車速 信号検出しきい値 2500 mV

バルス式エアフロ 信号検出しきい値 2500 mV

入力バルスノイズキャンセル時間

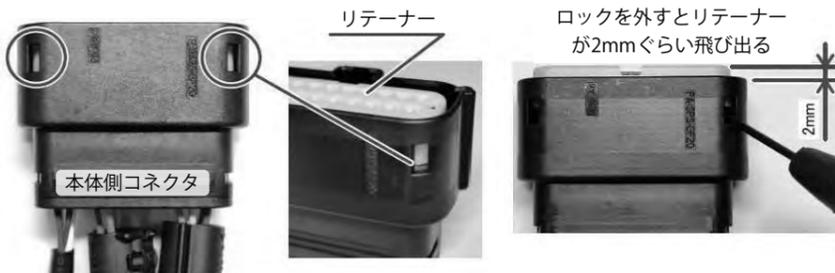
回転 100 μs

車速 100 μs

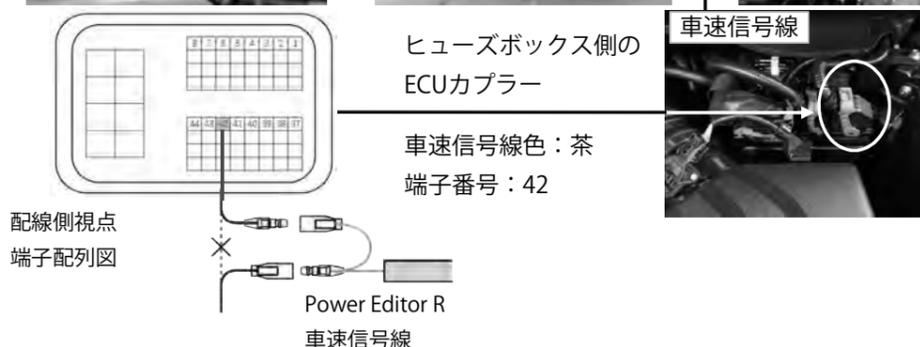
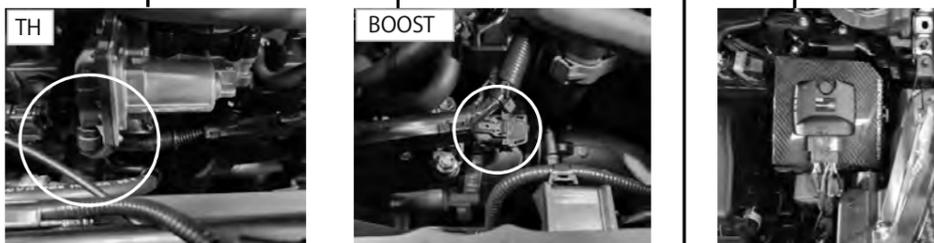
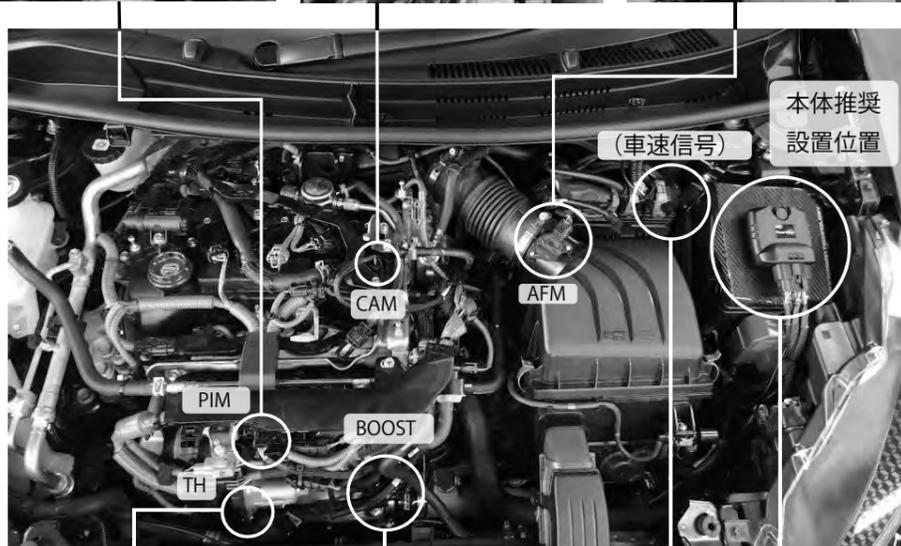
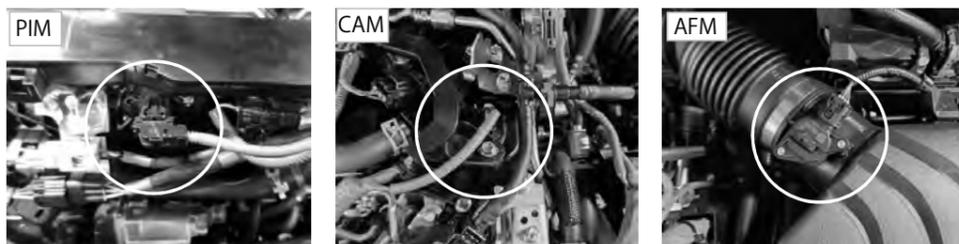
パラメータ設定

## 6. ハーネス取付け

- ① 車両のエンジンを切り、10分以上放置した後バッテリーのマイナス端子からケーブルターミナルを取外す。車両の状態により10分以上放置時間が必要な場合があります。適宜放置時間を設けてください。
- ② Power Editor R 本体を高温になる場所や、直接水が掛かる場所を避けて設置する。両面テープで固定する場合は貼付け面の汚れを落とし、よく脱脂してから貼付け、タイラップを併用し固定してください。両面テープだけで固定すると、経年劣化などで剥がれた場合危険です。
- ③ TR-1ハーネスの各センサへのハーネスを接続する。各センサ側に貼付けてあるラベルと下図を参照し、各センサと純正ハーネスに割込ませるように接続する。  
※ コネクタ接続時はロックがしっかり掛かっていることを確認してください。  
※ 補正を行わないハーネスは接続する必要はありません。  
接続しないハーネスのオスコネクタ、メスコネクタを接続して絶縁の代わりとしてください。
- ④ 車速補正を使用する場合は、ECUハーネスの車速信号線の配線を切りECU側にオスギボシ、車両側にメスギボシを取付け、車速信号ハーネスのギボシ側を接続する。SLD(4502-RA002)と併用の場合、ECUハーネスの車速線加工は不要です。SLDのオプション出力線(水色)と車速信号ハーネスのギボシ側を接続してください。車速信号ハーネスの端子側はTR-1ハーネスの本体側コネクタのリテーナーロックを外し(※1) Pin18に挿入する(※2)。  
車速信号ハーネスを接続しない場合はPin18に防水栓を取付けてください(※2)。  
※1 精密ドライバー(－)でリテーナーを持ち上げるようにしてロックを外してください。精密ドライバーを2本使用し、左右同時に持ち上げるとロックを外し易くなります。  
※2 「カチッ」と音がするまで挿し込んでください。  
※ 端子や防水栓を一度奥まで差込むとコネクタ内部でロックが掛かり抜けなくなります。十分注意して作業してください。再度抜く場合はリテーナーを完全に取外してからコネクタ内部のロックを外す必要があります。



- ⑤ リテーナーを押込んで元の状態に戻しPower Editor R 本体にTR-1ハーネスを接続する。
- ⑥ ハーネスが振動で動かないようPower Editor R 本体に同梱のタイラップで適宜固定してください。
- ⑦ 全てのコネクタが正しく接続できていることを確認後、バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルを取付ける。



## 7. Power Editor R 本体へのデータ書き込み

- ① 本製品に取付けられている防水用コネクタを外し、Power Editor R 本体に同梱のUSBハーネスを取付けパソコンと接続する。
- ② 「Easy Writer for Power Editor R」を使用して作成したマップデータを書込む。  
※ HKS ホームページより最新バージョンをダウンロードしてご使用ください。  
※ セッティングが完了しUSBハーネスを外した後は、防水用コネクタ または マップ切替えスイッチ用ハーネスを接続してください。



## 8. 異常、故障時の対応

### ⚠ 警告

使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店までお問い合わせください。そのまま使用すると、車両の破損や火災の原因となります。

### ⚠ 注意

- 故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

## 9. アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせ、及び紛失部品等の購入、修理はお買い上げの販売店までお問い合わせください。

## 10. 用語の説明

- 専門業者 : お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。  
コードNo. : HKS製品及び部品を注文する際に使用する番号。  
ユーザマニュアル : お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。  
点検・整備 : 安全に運転するために、本製品及び自動車全体の機能・性能を確認し、不具合部位を修理・調整すること。  
日常点検 : 自動車を運行する人が行う点検。日常点検及び点検項目は、ユーザマニュアルに従ってください。  
高温になる場所 : 温度上昇の高いところ。  
誤使用 : 例、エンジン本体や排気系部品の近傍。

## 11. 改訂の記録

Ver.	年/月	記載内容変更
3-1.01	2025/4	初版